

<パブリックコメントに寄せられた意見>

第7次魚津市行財政改革大綱（案）及び第7次魚津市定員管理計画（案）に対するパブリックコメント実施結果

実施期間：令和6年12月20日（金）から令和7年1月20日（月）まで

意見提出件数：第7次魚津市行財政改革大綱（案） 6件

第7次魚津市定員管理計画（案） 2件

【第7次魚津市行財政改革大綱（案）に対する意見（要約）】

ご意見	魚津市の見解等
<p>少子多死化社会（子どもが生まれず高齢者が亡くなる社会）において魚津市の人口も減少する時代に、本庁舎・コミュニティセンターなどの更新整備、更に魚津水族館の整備構想や富山地方鉄道(民間会社)への巨額投資等々、形あるもの新しくすれば、その整備、維持、最終的な廃棄に多額の資金が必要となり、人口と共に資金も減少していく。</p> <p>基本方針の『将来にわたり持続可能な自治体運営の実現』のような、聞こえの良い形容詞も良いが『マイナス形容詞(政策)』も堂々と語って文書で示してほしい。</p> <p>これからの時代のWordとして『“寛容性”を持ったおもしろがり体質集団』（私案）の精神で盛り上げましょう。</p>	<p>第1章にも記載していますが、市税収入の減少が見込まれる中、これからの魚津市の課題として、老朽化した施設の更新整備に備えた財源の確保が必要であると認識しております。</p> <p>行財政改革の取組として、中期財政計画を毎年見直し、限りある財源の効果的かつ効率的な活用と歳出の合理化を徹底するとともに、施設の更新整備費用等、将来の財政負担に備えた基金への積立や公共施設の総量抑制に努めることで、将来にわたり持続可能な自治体運営を実現してまいります。</p>

ご意見	魚津市の見解等
<p>支出をなるべく減らし、市民税を減らしてください。</p> <p>手取りを増やす方向に舵を取ってくれないと「魚津市は工場が少ないから税収が少なく税金が高い」というイメージが拭えません。</p> <p>周りでも滑川市に移住したという声があります。</p> <p>余計な箱物などは極力減らし、現役世代に目を向けた財政改革を希望します。</p>	<p>市民税の減税については、市民サービスへの影響が懸念されるため、慎重な判断が求められます。支出の削減については、市民サービスの低下に繋がらないよう配慮しながらも、事業の見直し等により合理化を徹底してまいります。</p> <p>また、将来の財政負担を考慮し、公共施設再編方針に基づく施設の再編整備や総量抑制に引き続き取り組んでまいります。</p>
<p>住みやすい街にするためにゴミの分別を滑川のようにもっと緩くしてほしい。</p>	<p>魚津市内の廃棄物を処理している新川広域圏事務組合では、焼却施設等の都合により、ビニール・プラスチック類を「燃やせないごみ」に分別し処理しています。令和7年度から令和9年度にかけて焼却炉の大規模改修を予定していますので、今後、分別の方法についても併せて協議してまいります。</p>
<p>4 Pの市税収入の推計グラフのように、下限値が0でなく、上下限値を任意に設定し、一部を切り出した形のグラフを使用して説明資料を作成することは、印象操作に繋がるため、やめていただきたい。データ（数字）の適切な表示がなされることを望みます。</p>	<p>ご指摘頂きましたとおり、4ページに記載されている「市税収入（個人市民税）の推計」のグラフの下限値を0とし、修正します。</p> <p>また、その他のグラフについては、下限値を0とすると経年による変動が分かりにくくなるため、視覚的な分かりやすさを重視し、そのままとします。</p>

ご意見	魚津市の見解等
<p>議員定数削減が必要。人口の減少に合わせて人口比率で見直しが必要。</p> <p>また、魚津市の成長戦略が具体化されていない。水産業、水産加工業への人材確保支援が急務。</p> <p>また、それらの地場産業に起因する飲食店、商業及び宿泊施設等への支援、誘致ほか環境整備が急務。</p> <p>勿論これだけで市勢の回復は出来ないが「優位性、強みは何か」を再考しなければならない。市町村地域競争に勝つマインド醸成が先ずは議会から必要。</p>	<p>議員定数の削減等の議会改革につきましては、魚津市議会の中で議論し判断されるものと認識しております。</p> <p>魚津市の成長戦略につきましては、ご指摘のとおり、市の優位性、強みは何かを把握し、有効な施策を実施すべきものと思います。</p> <p>現在、第5次総合計画の後期計画（令和8年度から令和12年度まで）の策定に向けた作業を行っていますので、その検討過程で市の総合的な戦略についても議論をしております。</p>
<p>今は世の中デジタル化。私のような後期高齢者でも市役所から市広報等はLINEにて送信して頂いています。</p> <p>最初は手間がかかりますが、市から発行される広報等諸々は、ペーパーではなく通信を利用して、ペーパーは希望者のみにして郵送という形にしては如何ですか。</p> <p>区長さんに依頼し一度のみ各家に聞き取り調査をすればペーパーの郵送費用位出るのでと思います</p>	<p>デジタル技術を活用しながら、市民が市の情報を適時・的確に把握できるよう、利便性の向上に取り組みます。</p> <p>一方で、デジタルの活用による格差が生じないように、誰一人取り残さない住民に寄り添った行政サービスの提供にも配慮してまいります。</p>

【第7次魚津市定員管理計画（案）に対する意見（要約）】

ご意見	魚津市の見解等
<p>昨今の、公務員雇用環境は承知しています。</p> <p>そこで素晴らしい制度があれど執行 STAFF(市役所職員)が存在しない・足りない、対応がない・救急車は1時間待ち)この事実だけは避けなければならない事実。</p> <p>特効薬は思いつきませんが、今後の発生するであろう多難なる世界・国内情勢、辛さを共有できる“金銭が発生しない”関係者(市民・関係人口)にて少数精鋭“おもしろがり体質集団”を結成してみたいか。(*社交辞令的な集まりではなく。)</p>	<p>今後、人口減少や少子高齢化が進行し、職員の確保が困難になることが予想されます。そのような中、多様化する市民ニーズや急速に変化する社会情勢に的確かつ迅速に対応していくためにも、市民や各種団体、民間事業者など多様な主体と連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>今後若年層の人口減少により、職員の採用が困難になると思われる。</p> <p>DXによる業務改善により、働き方を変えるといった安直な対策でなく、抜本的に職員が処理すべき業務を絞ることなどが必要でないか。</p> <p>土木や保育など、特殊な知識や経験を要する職員については、計画的に若手を採用し、技術継承に努めていただきたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、今後はとりわけ若年層の人口減少等により、職員の確保が困難になることが予想されます。</p> <p>定員管理計画の基本方針では、DXによる業務改善のほか、事業等のスクラップ&ビルドによる見直し、アウトソーシング等による業務の効率化を進めることとしています。</p> <p>また、土木技師の採用については、主に新卒者を対象とする募集のほか、年齢要件を40歳までに引き上げた社会人枠での通年募集を行うなどしております。今後も、各職種において採用方法を工夫しながら、職員の確保に努めてまいりたいと考えております。</p>